

第3回 城東区いじめ撲滅サミット



プログラム

9:30 開会

9:45 中学校生徒会代表生徒による
グループディスカッション

- ・各校での取組み等に関する意見交換
- ・事例研究

◆参加校：放出中学校、蒲生中学校、城陽中学校、
堇中学校、城東中学校、鯉江中学校

11:15 事例研究発表

12:00 閉会



城東区マスコットキャラクター
コスモちゃん

日程 令和6年1月13日（土）

場所 城東区役所会議室

4 質の高い教育を
みんなに



事例1

Aさんは、仲良しの SNS のグループを作り、やりとりをしていました。ただ、Aさんは、他のメンバーが寝ている深夜の時間にメッセージを送ることがよくあり、みんなは、内心困っていました。

ある日の深夜、Aさんが SNS にメッセージを送ったところ、Bさんが「いい加減にして！」と返信しました。その後、他のメンバーも次々に A さんへの不満を返信しはじめました。やがて、Aさんを外した別の SNS のグループができ、Aさんとのやりとりをしなくなりました。

<これまでの背景>

Aさんは、遅い時間にメッセージを送っていることは自覚していましたが、今すぐ返信を求めるような内容ではなく、翌朝に見てもらえればいいと思って送っていました。

Bさんたち他のメンバーは、特に急ぎの用件でもないメッセージを深夜に送られることに不満を募らせていましたが、そのことをみんなで話し合ったり、Aさんに伝えたりしたことはありません。

Bさんの返信をきっかけに、みんなが A さんに不満を持っていることがわかり、Aさんを SNS のグループから外しました。

事例2

クラスメイトの A さん、B さん、C さんは、スマートフォンでお互いを撮影し、アプリで画像を加工して楽しんでいました。ある日、A さんの顔の画像をアプリで加工したところ、とても面白い画像ができ、3人で笑い合いました。そして、B さんは仲良しの D さんに「かわいいよね？」とコメントをつけてその画像を送信しました。D さんも、その画像が気に入り自分の SNS のグループでシェアしました。

しばらくたった頃、A さんは、廊下ですれ違いざまに笑われたり、陰口を言われて嫌な思いをするようになりました。ある日、はじめに加工した画像がさらに加工され、そのうえ、様々なコメントつきで SNS で流れていることを知りました。

<これまでの背景>

B さんも D さんも、画像を転送したのは、画像が「かわいい」と感じたからであって、A さんを攻撃するような意図は全くありませんでした。

画像が転送されるうちにさらに加工され、様々なコメントが付けられるようになったのも、転送を受けた相手が画像を面白がって行ったものであって、加工した一人ひとりには、A さんに対する悪意はありませんでした。